

令和 5 年度

# 事業報告書

公益財団法人 札幌交響楽団

# 事業報告書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

公益財団法人 札幌交響楽団

公益財団法人札幌交響楽団は、定款第2章第3条に基づき、交響管弦楽による音楽芸術の普及向上に関し、必要な事業を行い、もって札幌市及び北海道における文化と教育の振興に寄与することを目的とする事業を行った。

定款第2章第4条に掲げる事業を次のように行った。

2023年度のオーケストラによる公演

## (1) 札幌交響楽団を編成し、及び維持すること。

### 1. 評議員、役員等及び事務局

評議員20名、理事19名、監事2名、事務局員15名（4ページ参照）

### 2. 交響楽団の編成

首席指揮者、名誉音楽監督、友情指揮者、正指揮者 各1名、楽団員75名

ステージスタッフ、ライブラリアン及びパーソネルマネージャー 計6名（5ページ参照）

（2024年3月末日現在）

### 3. 首席指揮者、名誉音楽監督、友情指揮者、正指揮者及び楽団員は、次の回数の公演に出演し練習に従事した。

首席指揮者 マティアス・バーメルト 出演回数14回、練習日数14日

名誉音楽監督 尾高忠明 出演回数0回、練習日数2日

友情指揮者 広上淳一 出演回数16回、練習日数13日

正指揮者 川瀬賢太郎 出演回数13回、練習日数10日

交響楽団としての出演回数は合計114回

これらの練習日数は合計112日

この他小編成による教育や福祉関係の活動33回

なお交響楽団として移動日等も含めての稼働日数は229日（オーディション2日を含む）

## (2) 交響管弦楽の演奏を行うこと。

### 1. 自主公演 計42公演

#### 【定期演奏会】16公演を実施

2023年4月から2024年2月までに1プログラムにつき2回ずつ計16公演を行った。定期演奏会は札幌交響楽団の活動の主軸になる公演。バーメルトが3回計6公演、尾高は1回計2公演の予定であったところ、練習2日目終了後に肺炎に罹患したことが判明し降板。よってこの定期演奏会は当初予定をしていたプログラムの前半のみを急遽代替を務めた藤岡幸夫が指揮した。ほかに、広上、川瀬がそれぞれ1回2公演を指揮し、オーボエ奏者、作曲家、指揮者と世界的に注目を集めているホリガー、2024年4月から首席客演指揮者に就任した下野竜也が登場した。

### 【hitaru シリーズ定期演奏会】 4 公演

2023年4月から2024年2月までに hitaru での定期演奏会は4公演を開催した。バーメルト、広上のほか、大植英次と鈴木優人が指揮をし、すべての公演に邦人による現代曲とピアノ協奏曲を含めた。

### 【名曲コンサート】 4 公演を実施

バーメルトと川瀬が1公演ずつ指揮をしたほか、ウィーン・フィルのコンサートマスターであるシュトイデと前首席指揮者ボンマーが出演した。

### 【特別演奏会】 18 公演を実施

#### ○札幌市内公演 9 公演

- |      |  |            |
|------|--|------------|
| 1.   | 札幌シンフォニック・ブラス                                    | 5月13日      |
| 2. 3 | 札幌夏休みスペシャル～オケパンVI「オーケストラは魔法使い」(2公演)              | 8月11日      |
| 4. 5 | 札幌の第9(2公演)                                       | 12月16日,17日 |
| 6. 7 | おんぶでさんぽ みんなのオーケストラ in Kitara (2公演)<br>(札幌市と共催) ※ | 1月10日      |
| 8.   | hitaru で見る・聴く・知るオーケストラ(札幌市と共催) ※                 | 2月13日      |
| 9.   | 札幌ふきのとうホール演奏会                                    | 3月30日      |

※札幌市低料金コンサートとして実施した

#### ○北海道内地方公演 8 公演

- |    |                 |       |
|----|-----------------|-------|
| 1. | 東川公演            | 7月17日 |
| 2. | 浦河公演            | 7月28日 |
| 3. | 長万部公演           | 7月30日 |
| 4. | 歌志内公演(萬田記念財団協賛) | 9月1日  |
| 5. | 小樽公演            | 1月20日 |
| 6. | 陸別公演            | 2月17日 |
| 7. | 鷹栖公演            | 3月6日  |
| 8. | 苫小牧公演           | 3月23日 |

#### ○東京公演 1 公演

1月31日

## 2. 依頼公演 44 公演を実施

○札幌市内公演・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30回

○北海道内地方公演・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14回

札幌市芸術文化財団、北海道新聞社、道新文化事業社、北海道電力、北洋銀行、北海道銀行、北海道公立学校教職員互助会、タナカメディカルグループ、北海道テレビ、北海道ガスをはじめ多くの団体、自治体からの依頼を受けて開催した。

(3) 青少年の音楽鑑賞及び演奏に関し、指導を行い、その普及を図ること。

音楽教室 28公演を実施

- 札幌市内公演・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14回
- 北海道内地方公演・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14回

札幌市内公演はKitara ファーストコンサート12公演と市内の高校1校、文化庁学校公演の1公演。道内地方公演は、旭川、恵庭、登別、小樽、苫小牧、音更と帯広（1日2公演）、文化庁からの依頼による6校であった。文化庁の学校公演はすべて北海道内であった。

楽団員によるワークショップ（体験型音楽教室）や楽器講習会では、音楽を通して学生と交流を深め、鑑賞するだけでなく演奏に参加する感動も広めることができた。（計11回）

- ワークショップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10回
- 芸術鑑賞会等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1回

(4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業を行うこと。

広報宣伝活動

○各種媒体での広報・宣伝活動

自主公演の公演プログラムで公演情報や楽曲の解説を行ったほか、ホームページ、Facebook、X（旧 Twitter）、Instagram、YouTube、TikTok など媒体の特性からターゲットを定め、札幌の理解促進を図った。また読み物として名曲コンサートでは札幌スタッフによる「気まぐれ通信かぶりっちょ」を発行、放送では2022年に引き続き AirG' FM 北海道「札幌プレイヤーズファイル」に楽団員が出演した。11月には雑誌『0. tone』とレストラン『DAFNE』の連携で音楽と食を結び付けた企画を実施。2月には大通駅地下通路でデジタルサイネージを使って演奏会の告知を行った。このほかに市内タクシーやホテル、観光施設の協力のもと、割引クーポン付きの年間リーフレットを設置し、観光客に対する認知度向上と来場促進を図った。

○その他の公演事業

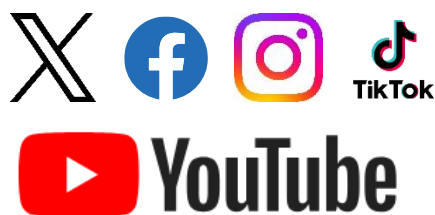
アンサンブル（13回）

コンサートホール以外の様々な場所でも演奏し、クラシック音楽に接する機会が少ない方にも札幌の存在をアピールした。

○支援学校、病院等への訪問演奏（9回）

特別支援学校や病院等に楽団員が出向き、コンサートに出かけることのできない方々に音楽鑑賞の機会を提供、社会貢献活動を行った。

○Kitara ギャラリー展『札幌交響楽団ものがたりー希望への前進』を開催



公益財団法人札幌交響楽団 評議員、役員等及び事務局

評議員	阿部 博光	理事長	宮口 宏夫	事務局	事務局長 多賀 登
	雨貝 尚子		副理事長		田中 良治
	井田 重芳	藤田 久雄		次長 中川 広一	
	出田 恵三	専務理事	鳥居 和比徒	奥山 大介	
	漆原 直子			岸本 彩子	
	長内 勲	理事	石井 純二	木村 奈緒	
	長内 直也			坂井 紳一郎	
	柏原 理	井上 健	櫻田 千恵		
	越田 習司	大槻 博	柴崎 麻里絵		
	近藤 浩	勝田 直樹	吉野 早苗		
	立川 宏	金井 昭雄	事業部		
	千田 雅子	加納 孝之		部長 宮下 良介	
	千葉 潤	笹原 晶博	次長 黒田 朋子		
	長沼 修	鶴井 亨	伊藤 宇宙		
	長谷川 正人	寺内 達郎	田鍬 敦志		
	三部 安紀子	中村 達也	種池 純子		
	三輪 宣彦	似鳥 昭雄			
	村山 英彦	東原 俊郎			
	吉田 祐樹	前田 真子			
	渡邊 多加志	萬田 直紀			
	村田 正敏				
		理事 19名			
監事	小寺 正史				
	酒井 純				
					評議員 20名
					事務局員 15名
					監事 2名

(2024年3月31日現在)

## 札幌交響楽団 指揮者・楽団員名簿

首席指揮者 マティアス・バーメルト 名誉音楽監督 尾高 忠明

友情指揮者 広上 淳一

正指揮者 川瀬 賢太郎

コンサートマスター 2名

会田 莉凡 特別契約  
田島 高宏 特別契約

チェロ 8名

荒木 均  
石川 祐支 首席・特別契約  
小野木 遼  
角野 友則  
猿渡 輔 副首席  
武田 芽衣  
廣狩 理栄  
横山 桂

ホルン 6名

岩佐 朋彦  
折笠 和樹 インスペクター  
島方 晴康  
土谷 瞳 副首席  
花澤 良平  
山田 圭祐 首席

ヴァイオリン 21名

赤間 さゆら  
飯村 真理 副首席  
井上 澄子  
岡部 亜希子  
河邊 俊和  
桐原 宗生 首席・特別契約  
熊谷 勇大  
小林 美和子 副首席  
佐藤 郁子  
多賀 万純  
高木 優樹  
竹中 遥加  
鶴野 紘之  
ティンパニ・スクアール・ヴィンチェンツォ  
土井 奏  
富田 麻衣子  
中村 菜見子  
橋本 幸子  
福井 岳雄  
三原 豊彦  
山下 暁子

コントラバス 6名

飯田 啓典  
稲橋 賢二 副首席  
大澤 敬  
斎藤 正樹  
下川 朗  
吉田 聖也 首席

トランペット 4名

小林 昌平  
佐藤 誠  
鶴田 麻記 副首席  
福田 善亮 首席

トロンボーン 3名

田中 徹  
中野 耕太郎 副首席  
山下 友輔 首席

フルート 2名

川口 晃 副首席  
福島 さゆり

バスドラム 1名

澤山 雄介

チューバ 1名

玉木 亮一

オーボエ 3名

浅原 由香 副首席  
関 美矢子 首席  
宮城 完爾

ティンパニ・打楽器 4名

入川 奨 首席  
大垣内 英伸  
大家 和樹 副首席  
細江 真弓

クラリネット 2名

白子 正樹 副首席  
三瓶 佳紀 首席

楽団員計 75名のうち特別契約 5名

ヴィオラ 9名

青木 晃一 副首席  
荒木 聖子  
鈴木 勇人 インスペクター  
仁木 彩子  
橋本 純一郎  
樫本 朱音  
原 香奈恵  
廣狩 亮 首席・特別契約  
物部 憲一

ファゴット 3名

坂口 聡 首席  
夏山 朋子 副首席  
村上 敦

パーソナルマネージャー

高井 明  
玉田 周哉

ステージアドバイザー

猪狩 光弘

スタッフ

安達 嵩博

山下 大樹

ライブラリアン

中村 大志

スタッフ計 6名

(2024年3月31日現在)

---

# 札幌交響楽団 2023年度活動報告

---

公益財団法人 札幌交響楽団

<https://www.sso.or.jp>

# 札幌交響楽団の活動

## オーケストラ演奏会

計114公演

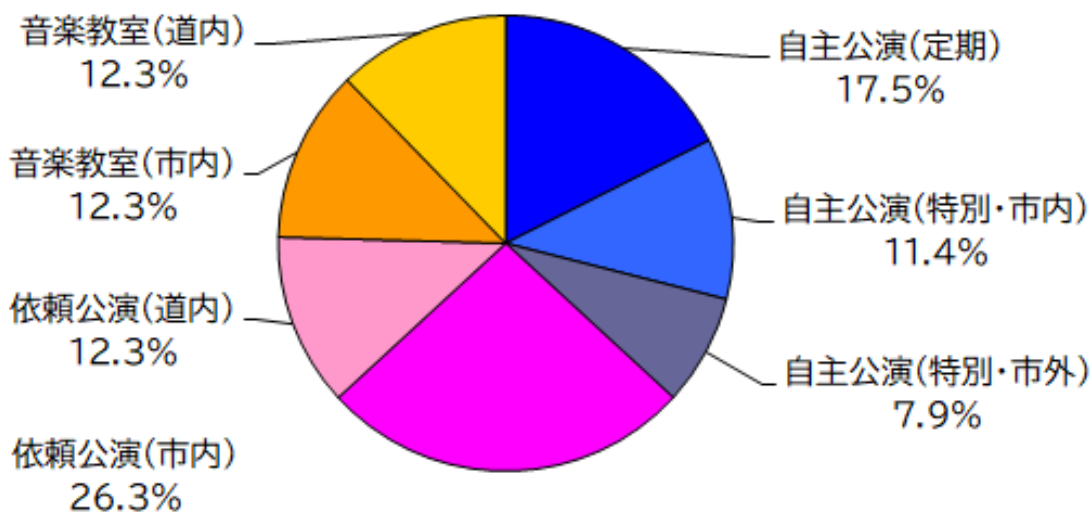
### ■ 自主公演(42公演)

定期演奏会(札幌市内)	20公演
札幌市内	13公演
北海道内	8公演
北海道外(東京公演)	1公演

### ■ 依頼公演(44公演)

### ■ 音楽教室(28公演)

2023年度演奏会内訳



## 教育・地域活動、アンサンブル演奏

計33公演

**総計147公演**



# 自主公演 札幌が主催する演奏会

## ■ 定期演奏会 20公演

2つのシリーズで20公演を開催

定期演奏会 テーマは「夜」 8プログラム 16公演

hitaruシリーズ定期演奏会 4プログラム 4公演



5月定期演奏会はコロナ禍により演奏を断念していたブルームス「ドイツ・レクイエム」を合唱団とともに演奏。

## ■ 札幌市内公演 13公演

札幌名曲コンサート（4公演）

札幌シンフォニック・ブラス（1公演）

札幌夏休みスペシャル（2公演）

札幌の第9（2公演）

ふきのとうホールコンサート（1公演）

札幌市共催・低料金コンサート（2プログラム 3公演）



8月夏休みスペシャルでは公募で決まった“キッズアナウンサー”がステージ上で開演前アナウンスを行った。

## ■ 北海道内公演 8公演

東川／浦河／長万部／歌志内（萬田記念財団協賛）

小樽／陸別／鷹栖／苫小牧



8月の名曲コンサートを指揮したマックス・ポンマーは4年ぶりの来日。

## ■ 北海道外公演 1公演

東京公演2024（1月、東京・サントリーホール）



2018年から首席指揮者を務めたマティアス・バーメルトが退任。1月の東京公演が首席指揮者として最後の公演となった。カーテンコールではお客様からの拍手が鳴りやまず、オーケストラ退場後にもステージに出る場面も。



地方公演では札幌楽団員がソリストを務める曲目を多く取り入れ、オール札幌の魅力を伝えた。写真はコンサートマスター田島がソリストを務めた東川公演。

# 依頼公演

## 企業、自治体などの依頼で行う演奏会

### ■ 札幌市内公演 30公演

札幌市芸術文化財団主催<Kitara、hitaru> 8公演

- Kitara 5月 Kitaraきがるにオーケストラ  
12月 Kitaraのクリスマス  
1月 Kitaraのニューイヤー
- hitaru 6月 新国立劇場オペラ(2公演)  
12月 hitaruバレエプロジェクト(3公演)

各企業・団体主催 22公演

コロナ禍の影響はほぼ解消し、市内依頼公演においても企業・団体様から新たな公演依頼をいただきました。



PMFにはホストシティ・オーケストラとして参加。PMFで過去にアシスタント・コンダクターをつとめていた札幌正指揮者・川瀬賢太郎が登場。

### ■ 道内各地の公演 14公演

北海道新聞社、北海道電力、北海道公立学校教職員互助会やその他企業による補助と、各自治体、会場ほか関係機関の協力のもと、以下の市町で14公演が開催されました。このうち美幌公演はホールオープン10周年記念事業として開催されました。

奈井江／江別／稚内／中川／函館／岩内／美幌／釧路／北広島／岩見沢(2公演)／清里／千歳／栗山



空知信用金庫の創立100周年記念コンサートを岩見沢で開催。指揮は広上淳一(友情指揮者)。

北ガスグループの新たなコンサート「北ガスグループクラシックコンサート」をKitaraにて開催。



中川町公演(北海道公立学校教職員互助会公演事業)では、25年度から札幌首席指揮者に就任するエリアス・グランディが指揮。

第1回  
北ガスグループ  
クラシック  
コンサート

北ガスグループは、音楽を通して心豊かな地域社会づくりに貢献したいと志す。  
「クラシックコンサート」を開催いたします。

2024年3月12日(火) 18:00開場  
札幌コンサートホール Kitara 大ホール

全席指定定価 一般1,000円(税込) / 小児500円(税込) / 無料

2024年1月4日(木) チケット販売開始

Kitara スタジオセンター TEL: 011-2381-1221(受付時間: 10時~18時)  
http://www.kitara-nippon.or.jp

北ガスグループクラシックコンサート 事務局  
〒060-0801 札幌市中央区南一条西1丁目1番1号 北ガスグループ本社5F  
TEL: 011-613-3033 FAX: 011-613-3035  
http://www.kitagasshiki.or.jp

北ガスグループ

# 音楽教室

青少年に音楽の楽しさを伝える演奏会

## ■ Kitaraファースト・コンサート

12公演

札幌市内と近郊の小学6年生を対象とした「Kitaraファースト・コンサート」全12公演を実施。

10月の7公演を正指揮者の川瀬賢太郎が、11月の5公演を首席指揮者のマティアス・パーメルトが担当しました。



パーメルトはKitaraファーストコンサートのプログラム(曲目)の検討から参加し、教育活動に取り組んだ。

## ■ ジュニアクラシック 9公演

北海道新聞社などの助成を受けて道内各地で開催するジュニアクラシックコンサートは7市8公演を実施しました。  
旭川／恵庭／登別／小樽／苫小牧／音更／帯広(1日2公演)  
(8公演)

Kitaraを会場に高等学校のジュニアクラシックコンサートを開催しました。  
(1公演)



道内ジュニアクラシックコンサートでは広上淳一と楽員がトークを交えながら展開。

## ■ 文化庁主催・文化芸術による 子供育成総合事業 (巡回公演事業)

7公演

文化庁主催の巡回公演として、市内・道内の7校を訪問しました。

(小学校4校、中学校2校、養護学校1校)

受け入れ学校との入念な打ち合わせのうえ、事前訪問のワークショップとオーケストラ演奏会を実施しました。

学校での公演はコンサートホールよりも子どもたちと近い距離で、オーケストラの生の音の迫力を直接伝えています。



# 教育・地域活動、アンサンブル演奏会

## ● 教育への貢献 教育や子供たち、若者を音楽で支援することに取り組んでいます。

### ● 音楽鑑賞DVDの収録

小中学校の音楽の授業で使用する鑑賞教材用に演奏の収録を行いました。  
共演：札幌日本大学高等学校吹奏楽部



### ● 楽団員による講義

北海道大学教養課程などで楽団員がレクチャーの講師を務めました。



### ● スクールコンサート

道内の養護学校等を訪問し、アンサンブル演奏を行いました。



## ● 地域への貢献 福祉施設や街のにぎわいの中など地域の様々な場面に音楽をお届けすることで、人々の元気と地域の活性化に寄与する取り組みを行っています。



札幌駅での「JRタワー妙夢コンサート」に出演。



病院や高齢者施設などを訪問しミニコンサートを実施。会場に足を運ぶのが難しい方々に生の音楽をお届けし、喜んでいただきました。



北海道日本ハムファイターズの試合前後に球場で演奏。野球ファンの方々にも“札幌”を楽しんでいただきました。

